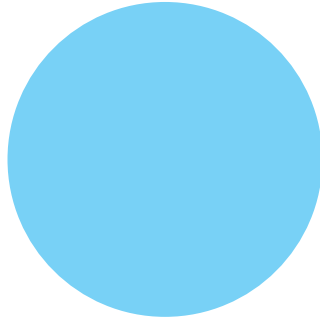
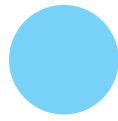




第2章 総社市の現状



第2章 総社市の現状

1 人口等の動向

(1) 人口の推移

本市の総人口をみると、平成17年3月の一市二村の合併を経て、平成17年の総人口は67,901人で、平成19年の68,039人をピークに減少傾向にありましたが、平成24年からは、また増加傾向にあり、平成26年の総人口は67,809人となっています。

全人口に占める65歳以上の割合は26.2%であり、平成17年(20.4%)から5.9ポイント増加しているものの比較的緩やかに高齢化が進行している状況であり、15歳未満の人口割合は14%台を維持しています。

図表1 年齢3区分人口の推移

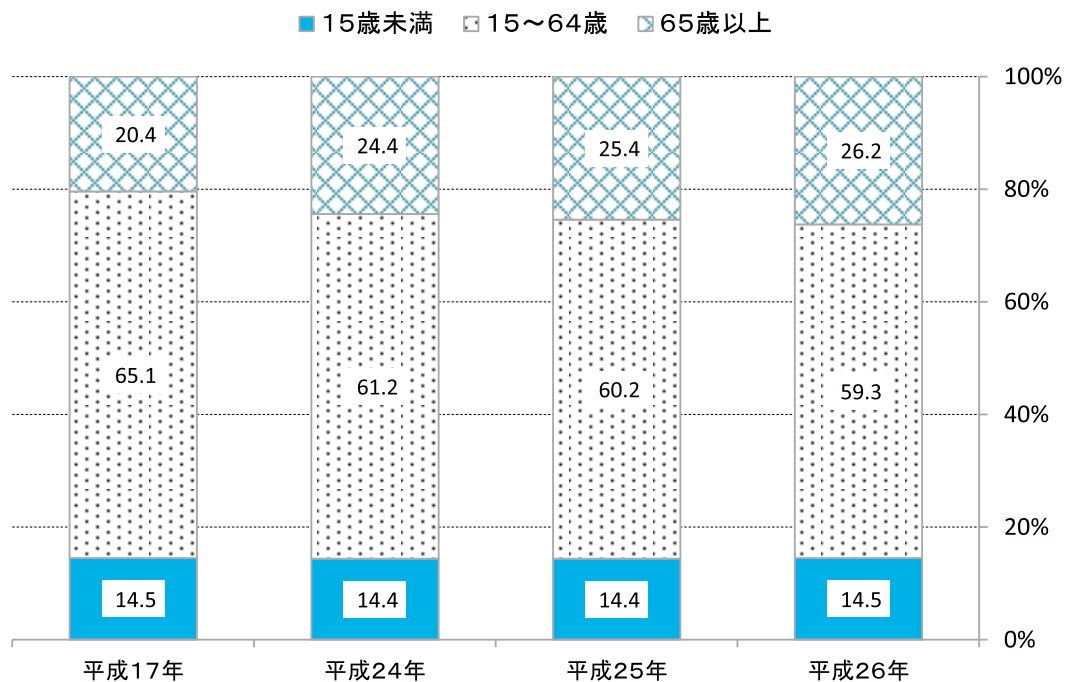
(単位：人)

	平成17年	平成24年	平成25年	平成26年
15歳未満	9,868	9,758	9,778	9,825
15～64歳	44,275	41,448	40,739	40,183
65歳以上	13,845	16,499	17,227	17,801
総人口	67,988	67,705	67,744	67,809

各年11月末日現在

資料：市民課

図表2 年齢3区分別構成比の推移



各年11月末日現在

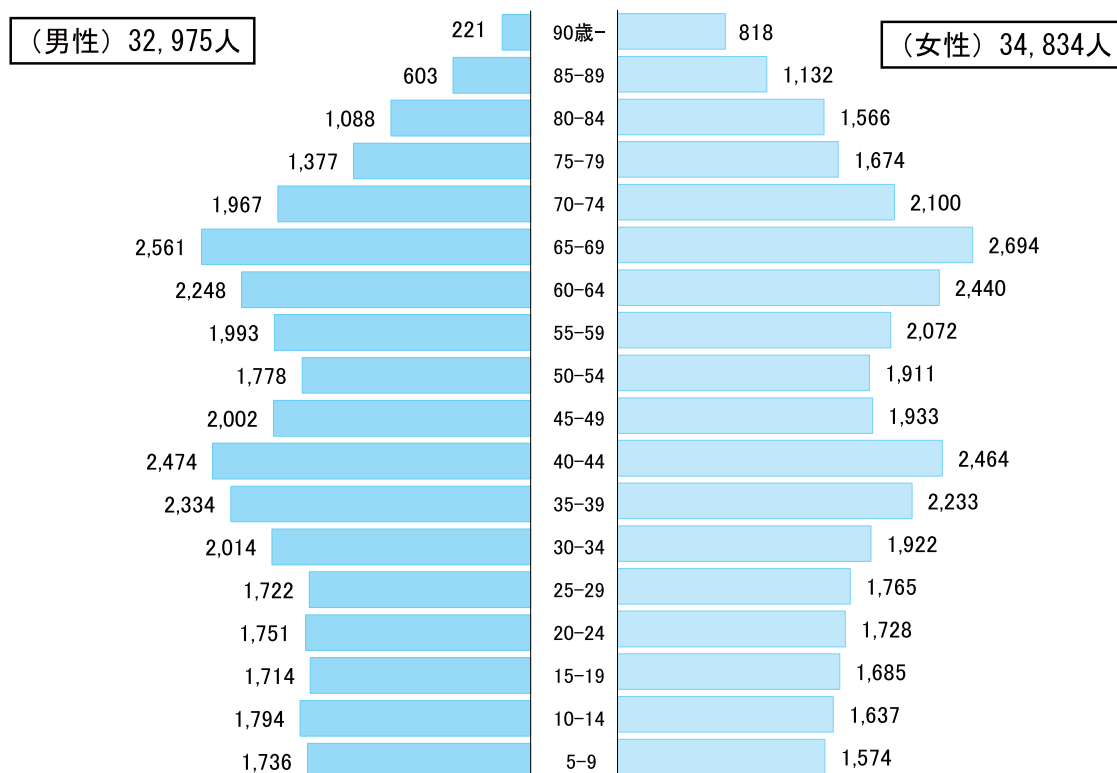
資料：市民課

(2) 人口の構成

平成26年11月末日現在における本市の人口構成は次のとおりです。いわゆる団塊の世代を含む65～69歳が高齢者となっており、今後も高齢化率が徐々に高くなることが推定されます。

図表 3 人口ピラミッド

総人口 67,809人



平成26年11月末日現在

資料：市民課

2 障がい者の状況

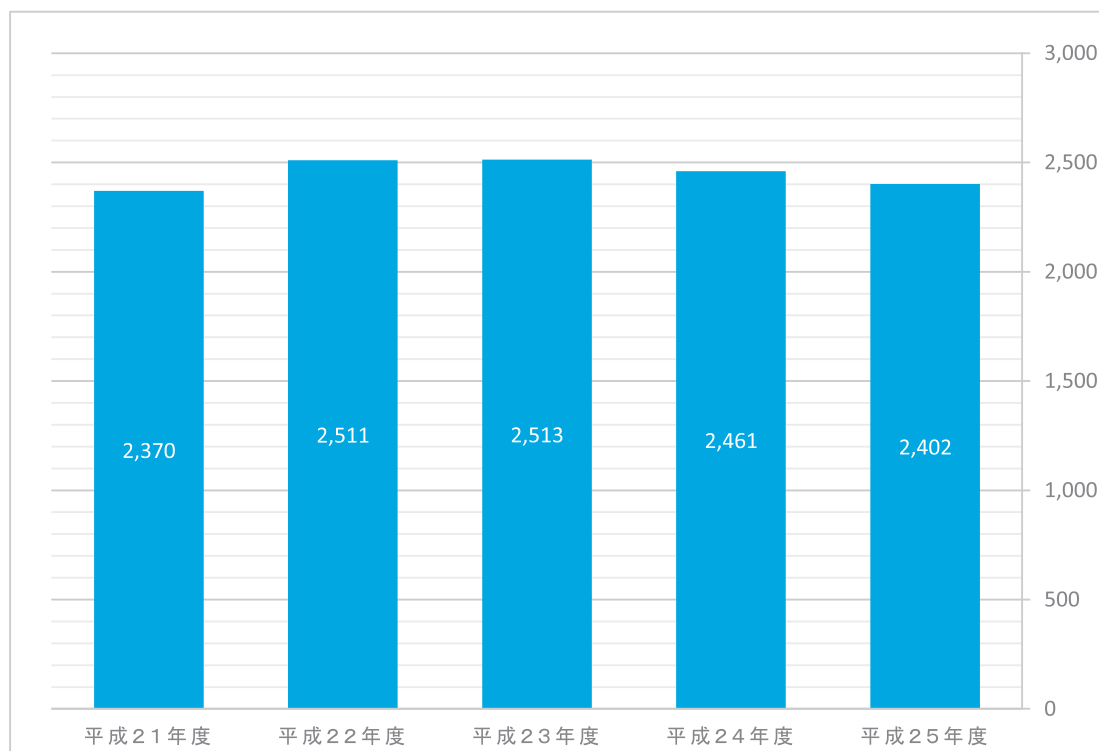
(1) 身体障がい者

平成25年3月末における本市の身体障がい者は2,402人で、そのうち、69.7%が65歳以上となっています。また、65歳以上の身体障がい者のうち、60.7%が肢体不自由、25.8%が内部障がいとなっています。

身体障がい者数の推移をみると、平成21年度末では2,370人であった身体障がい者数は平成25年度末では2,402人と、1.4%増加していますが、直近の3か年でみると減少傾向にあります。

障がい種別の身体障がい者数の推移をみると、過去5年間で音声・言語障がい、36.8%、内部障がい、8.6%増加していることが分かります。

図表 4 身体障害者手帳所持者数の推移



各年度末現在

資料：福祉課

図表 5 身体障害者手帳所持者数

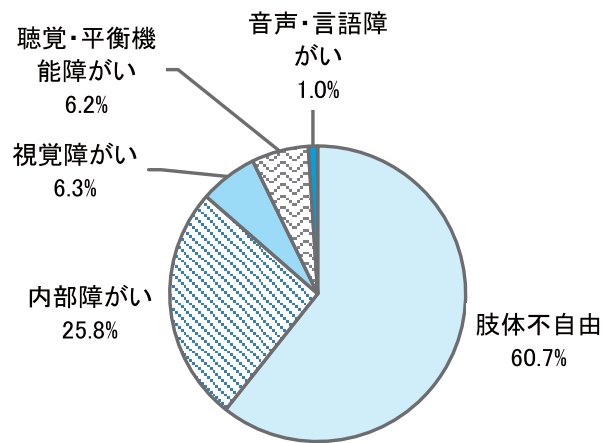
(人)

年齢別	等級別						合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
18歳未満	25	12	12	2	1	5	57
18～64歳	235	116	75	159	57	30	672
65歳以上	494	264	233	486	101	95	1,673
合計	754	392	320	647	159	130	2,402

平成25年度末現在

資料：福祉課

図表 6 障がい種別身体障害者手帳所持者数（65歳以上）

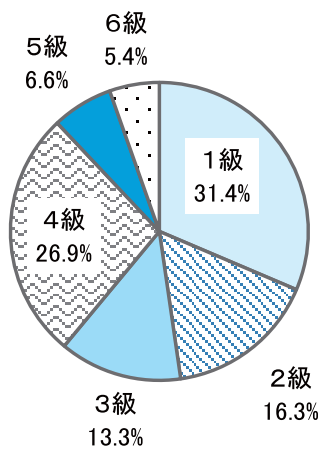


N = 1,673

平成25年度末

資料：福祉課

図表 7 等級別身体障害者手帳所持者数

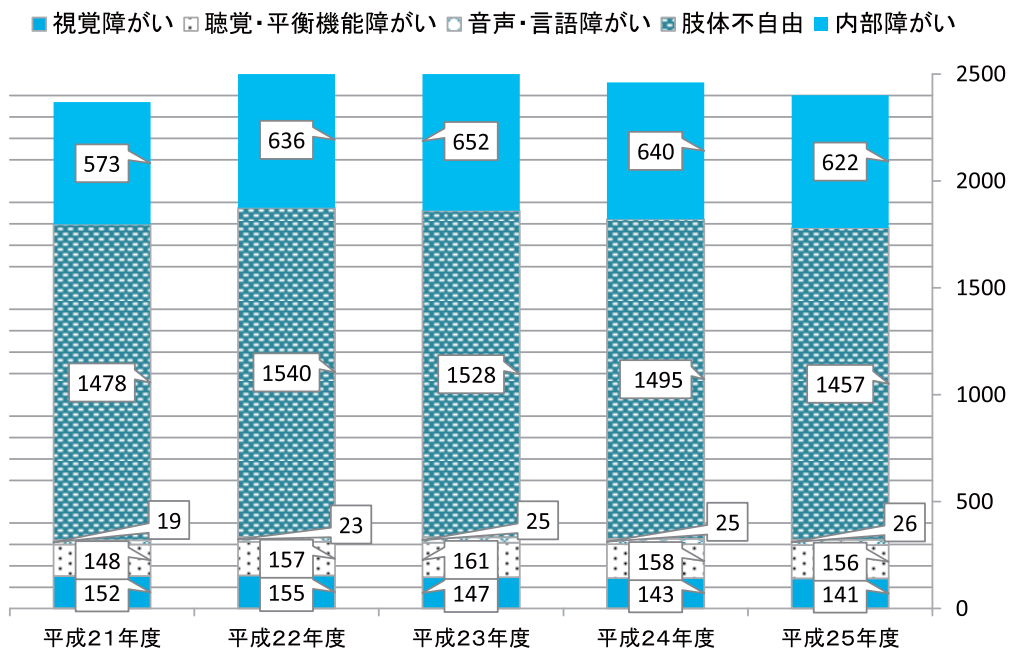


N = 2,402

平成25年度末

資料：福祉課

図表 8 障がい種別身体障害者手帳所持者数の推移



各年度末現在

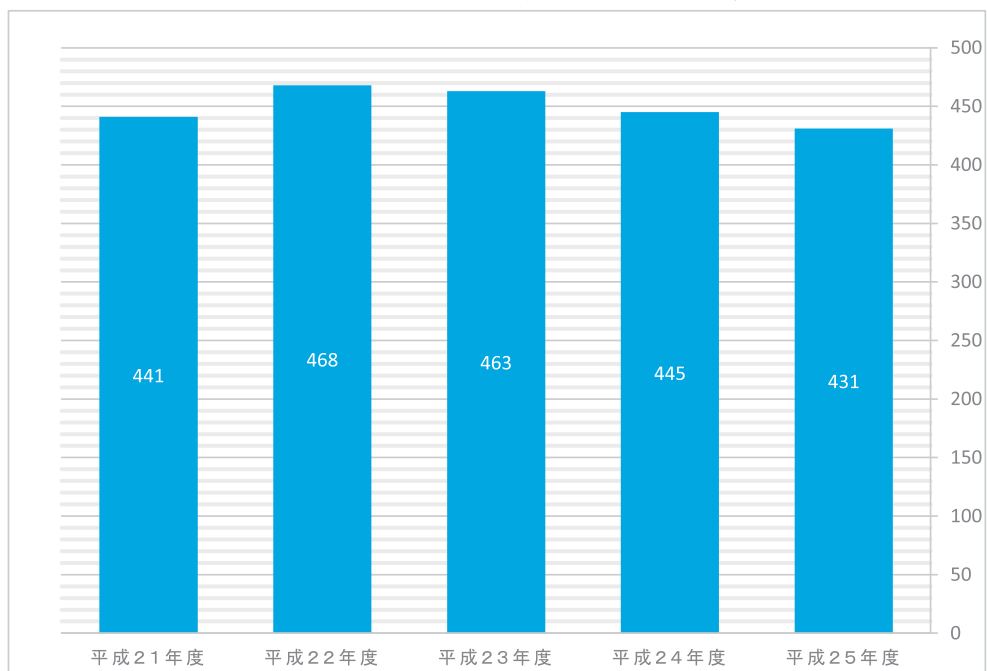
資料：福祉課

(2) 知的障がい者

知的障がい者数の推移をみると、平成22年度末では468人であった知的障がい者数は平成25年度末では431人とやや減少傾向にあります。

障がい程度別の知的障がい者数の推移をみると、過去5年間でA判定は8.6%減少し、B判定は2.4%増加していることが分かります。

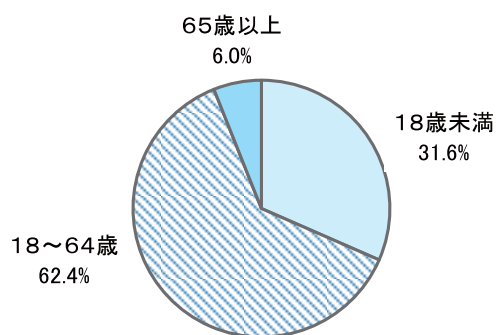
図表 9 療育手帳所持者数の推移



各年度末現在

資料：福祉課

図表 10 年齢階層別療育手帳所持者数



N = 431

平成25年度末

資料：福祉課

図表 11 障がい程度別療育手帳所持者数の推移

(人)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	4年間の 増加率
A判定	187	192	174	172	171	91.4%
B判定	254	276	289	273	260	102.4%
合 計	441	468	463	445	431	97.7%

各年度末現在

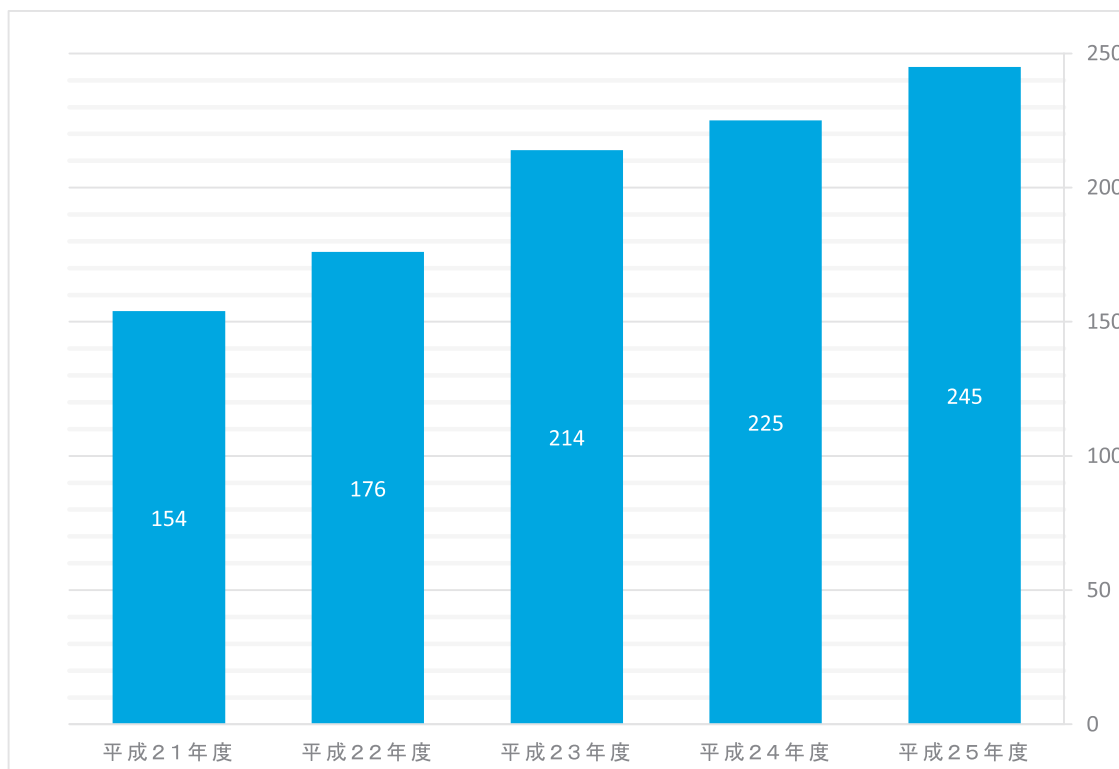
資料：福祉課

(3) 精神障がい者

精神障がい者数の推移をみると、平成22年度末では154人であった精神障がい者数は平成25年度末では245人と、59.1%増加しています。

等級別の精神障がい者数の推移をみると、過去5年間で1級は28.9%、2級は62.1%、3級は135.7%増加していることが分かります。

図表 12 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移



各年度末現在

資料：福祉課

図表 13 等級別精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

(人)

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	5年間の増減率
1級	45	43	56	55	58	128.9%
2級	95	113	141	143	154	162.1%
3級	14	20	17	27	33	235.7%
合計	154	176	214	225	245	159.1%

各年度末現在

資料：福祉課

(4) 発達障がい

発達障がいの疑いがある児の推移をみると、平成23年度では、1歳6か月児が44人、3歳6か月児が106人であったのが、平成25年度では1歳6か月児が203人、3歳6か月児が213人と266人増加しています。

この推移は、幼稚園や保育所等の集団生活をしていく中で、集団になじめないなどの相談による発達障がいの理解とともに保護者や施設関係者の認識が高くなったことから、近年増加する傾向にあると考えられます。

図表 14 発達障がいの疑いがある児の推移
(乳幼児健診結果)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1歳6か月児	44人 (7.5%)	114人 (20.5%)	203人 (33.7%)
3歳6か月児	106人 (17.9%)	138人 (22.8%)	213人 (35.7%)

各年度末現在

資料：こども課

